

ゴウ
黒田剛
(14)

ミサキ
藤原美咲
(14)

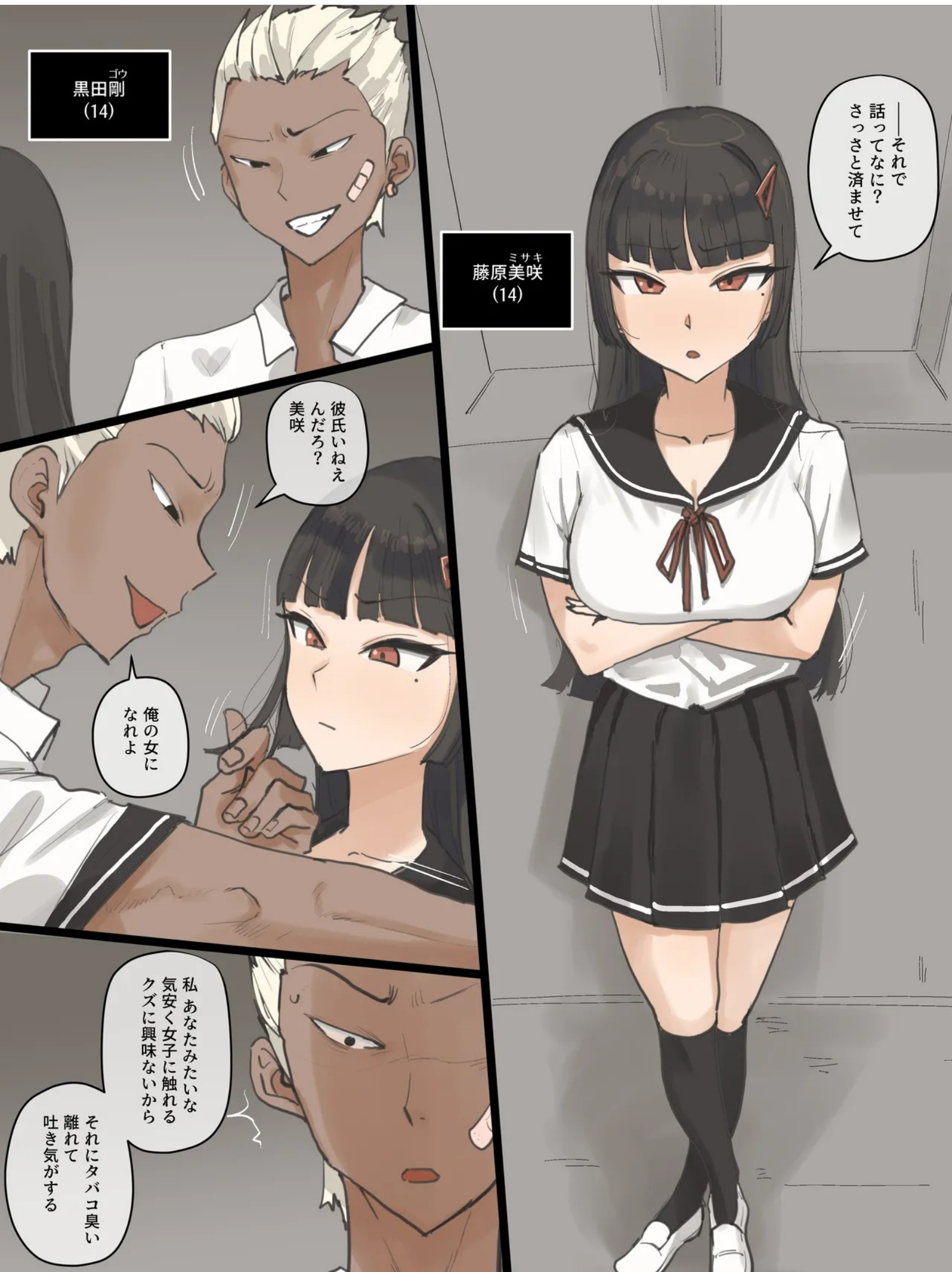
—それで
話ってなに?
さっさと済ませて

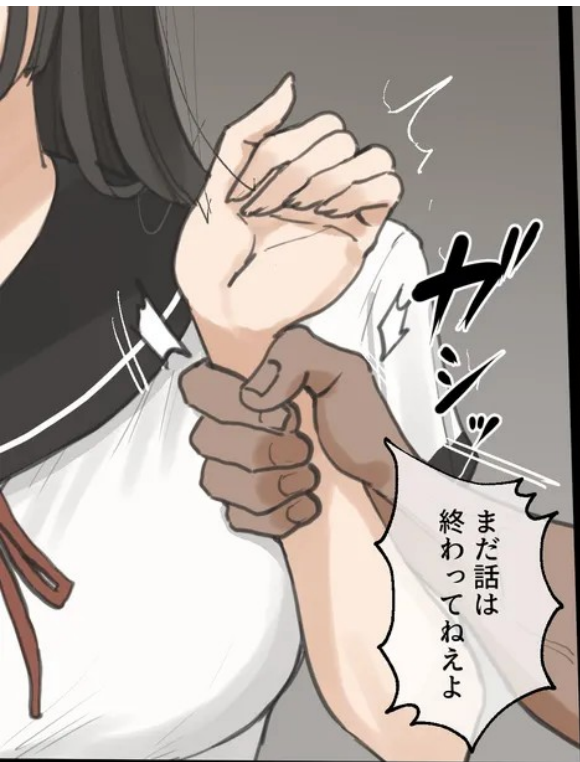
彼氏いねえ
んだろ?
美咲

俺の女に
なれよ

私あなたみたいな
気安く女子に触れる
クズに興味ないから

それにタバコ臭い
離れて
吐き気がする





ガシッ

まだ話は
終わってねえよ



もう二度とこんな
くだらないことで
呼び出さないで

おっと…
まだニオウ？

かなり香水
フったのによ笑



体育館裏だ
大人しく
ついてこい

女の喜びつてのを
たっぷり教えて
やっからよ



おいこれでも
優しくして
やってんだぜ

いやっ…
放して！



てか胸デカすぎ
何かツブだよ？

やめろ
嫌がってるだろ



お前停学が解けて
2週間も経ってない
だろ？



ぶん殴られる
前によ笑

はっ雑魚は
引っ込んでけ

優斗！



今やめるのが
身のためだ

ユウト
佐藤優斗
(14)



また学校に
呼び出されても
いいのか



もう一度停学
くらってみろ
次は退学処分だ

そういえば：
お前の父親かなり
厳しそうだっとな：
たしか軍に勤めてる
んだっけ？



このクソ野郎がッ!!

モブどもに少しチャホヤされてるからって調子乗ってんじゃねえぞアアン?!

お前こそっ…校内でしかイキれない雑魚だろっ…

口だけは達者だなこのクズがッ!

ドグッ

ガッ

ドブッ



ははっ…そうやってすぐ手を出せば…

強く見えるとしても思ってるのか?

てめえ…

マジで殺されたいらしいな…?

子供の頃から誰よりも強くなりたかった…だけど俺は病弱だった

ムキになればなるほど…弱く見えるぞ…

アッ

そんなにケンカ
売りたいなら
アタシが買って
やるって

ガ
シ
ン

スパarrings
したいなら
いつでも来な

うんざりするほど
付き合ってるからさ!

リョウコ
高橋涼子
(15)

だから俺が選んだ道は
俺なりのやり方で
誰にも文句を言わず
認めさせること

常に学業では
トップの成績を
維持し続けた上に

グ
ッ

ぐう...

これ以上
醜態晒したく
ないなら
タツシな

クソがアツ!

涼子...
もういい...
大丈夫だから

え?
あ...
うん



おい剛!!
またお前か?!
今すぐ職員室に
来い!!

誰がためえの指図
なんか受けるか
このハゲ

な...なんだと
この礼儀知らずが!!

おい優斗...
これで終わりだと
思うなよ

だけど...
その時の俺は
知らなかった

いつか必ず
叩き潰してやる

このガキ!!
明日保護者を
連れてこい!

あーあ残念
やつと面白く
なってきたとこ
だったのに

俺たちの
悪縁は

まるで
運命みたいに
断ち切れないもの
だったことを...

あの子は昔から
変わらないわね…
小さい頃から
いつも優斗のこと
実の姉みたいに
守ってくれて…

涼子ちゃんから
心配だって
連絡があったわよ…
あなたが
電話に出ないって

ああ
そうなんだ

ええ…
一度連絡して
あげなさい

それと…
担任の先生とも
お電話したんだけど
あの子…黒田くん
学校辞めたそうよ

そういえば
あの子も
お父さんと
二人暮らしだって
聞いたわ…

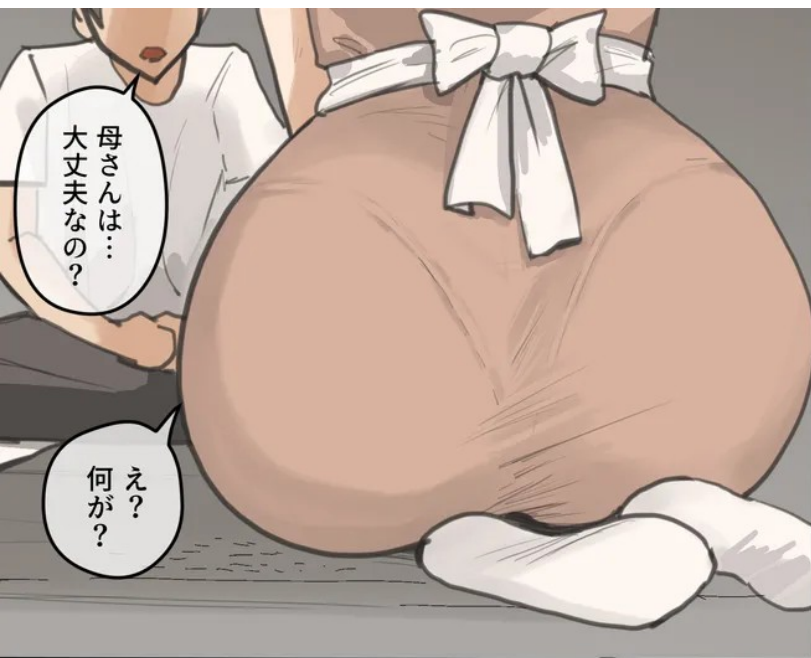
ユカ
佐藤由佳
(33)

なんだか可哀想ね…
ちゃんと面倒を見て
もらえなかったの
かしら…

全部アイツ自身が
やってきたことだ
なら全ての責任は
アイツにある

環境のせい
にするなんて
卑怯者の
することだ…

…お母さんね
優斗のそういうところ
本当に立派だと思う
いつも感謝してるわ…





あ…
そ…
そ…
の…



こんな
遅い時間に…
どうやって
来たんだ？

お礼なら
学校で十分
聞いたけど…



あそうだ…
これ…

桃のジャム…
私が作ったの…

本当…？
ありがとう
大事に食べるよ



怪我…
大丈夫か
心配で…

もじもじ



美咲お嬢様
もう遅い時間です
そろそろお戻りを

あ…
はい…



…好きだ

ドキッ♡



美咲



そ…
それじゃ…
また明日…



おーい優斗!
アタシのこと
待ってたのか?
カワイイ奴め笑

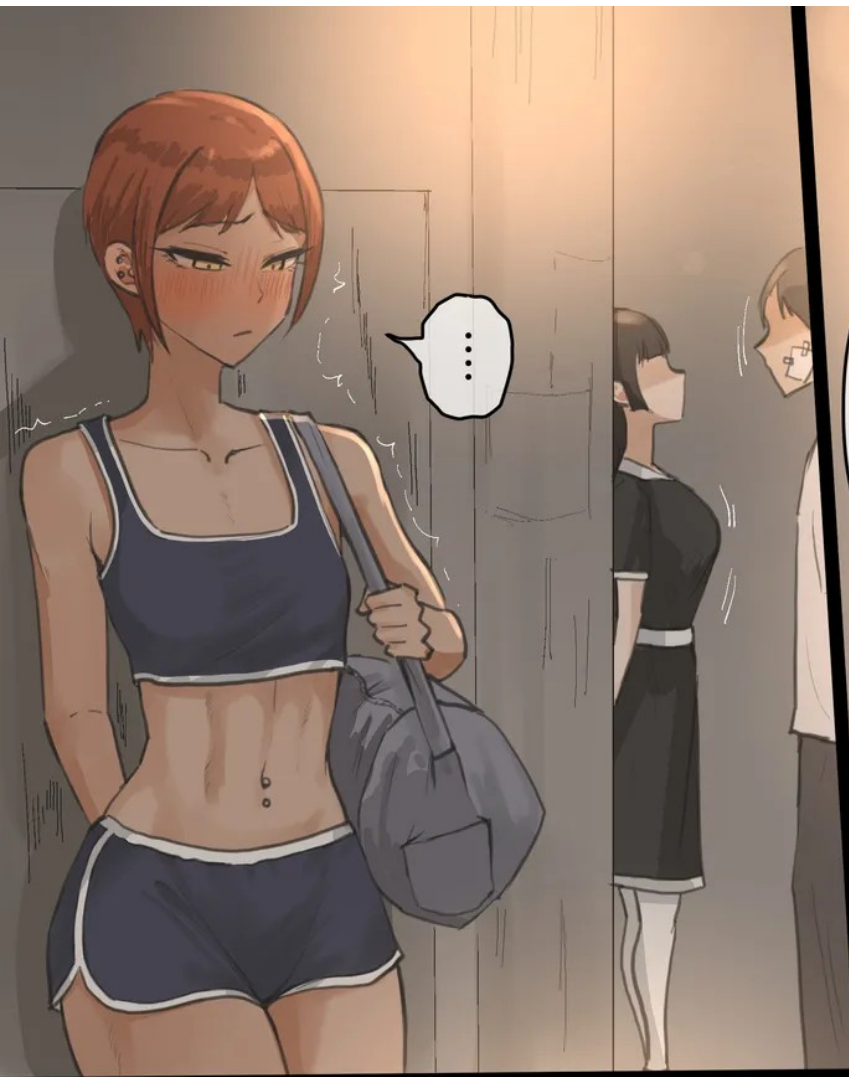


お礼なら
明日ジューズ
でも…



ん?
優斗?

ドキッ♡



...

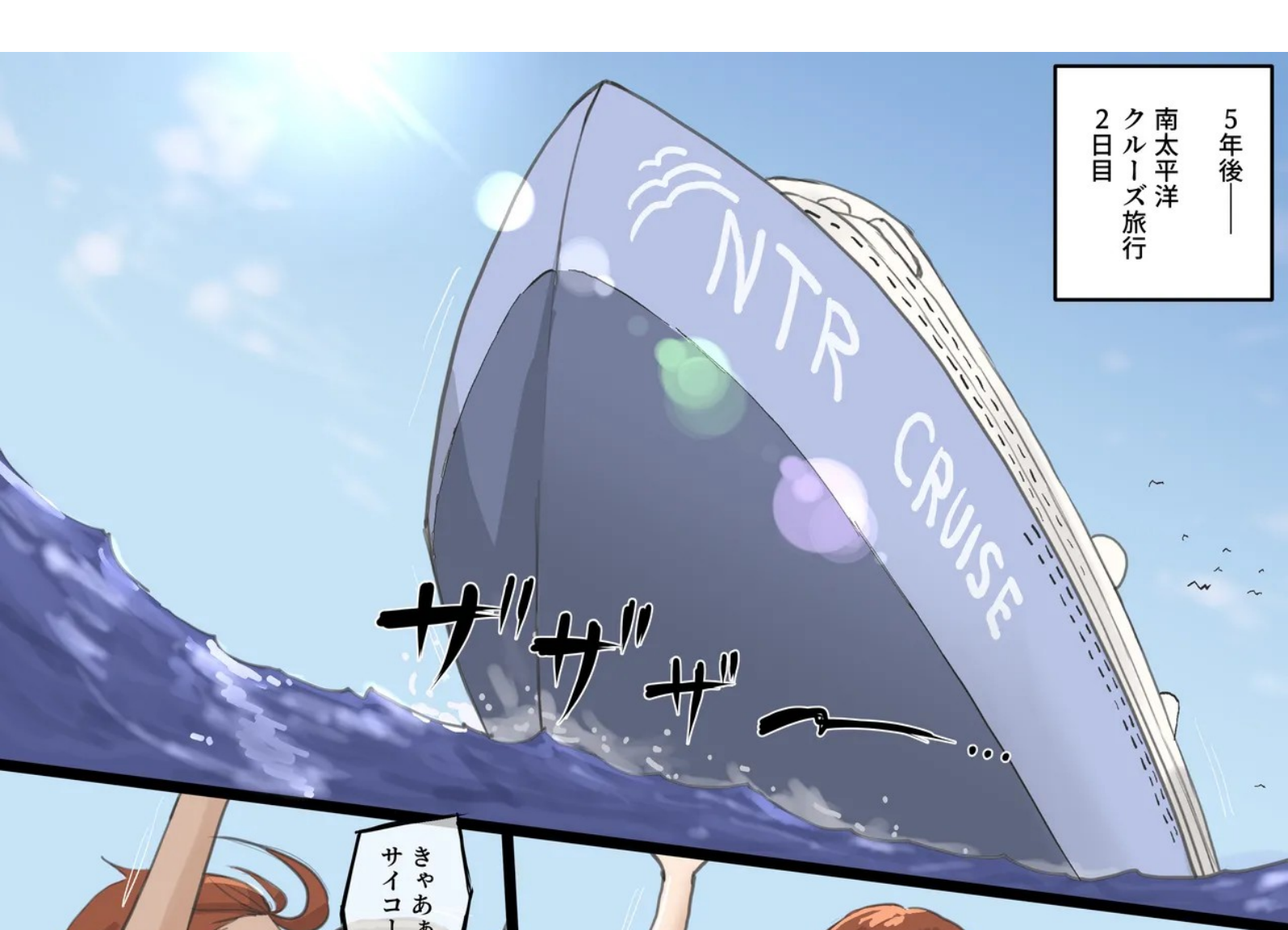


私が先に言おうと思ってたのに...

もうっ...



5年後—
南太平洋
クルーズ旅行
2日目



きやあああ!
サイコー!!





はあ：優斗!!
シラけること
言わないの!
アタシが直々に
スタイリング
したんだから

自分の理想を
俺の母親に
押し付けるの
やめろ



私は
気に入ってるわよ?
久しぶりに
昔を思い出すし:
フフフ

いくらなんでも
母さんの水着
大胆すぎないか
...?



おばさま
すごく綺麗で
ずっとお若く
見えます

あらほんと?
ほら優斗
美咲ちゃんも
褒めてくれてる
じゃない

ほんとセンスない
なんでこんな奴が
美咲の彼氏で
いられるのか
理解に苦しむわ

うっ:
うるさいな!
それより
明日滞在する
島の計画
立てようぜ



なんだとっ?!
アタシが
貧乳だって
言いたいの?!

な：なんで
そうなんだよ?!



めっちゃ面白そう！
ニュージージーランドの
火山ツアーも楽しみ！

筋肉ムキムキの
イケメンも
たくさん…？
ムフフ…



てことは…
私たちは今
この辺りかな？

うん
たぶん明日は
この島に
一日滞在して

明後日には
ニュージージーランドに
入る予定らしい



ちょっと優斗…
二人きりの時も
そんなつまらない話
ばっかしてるワケ？

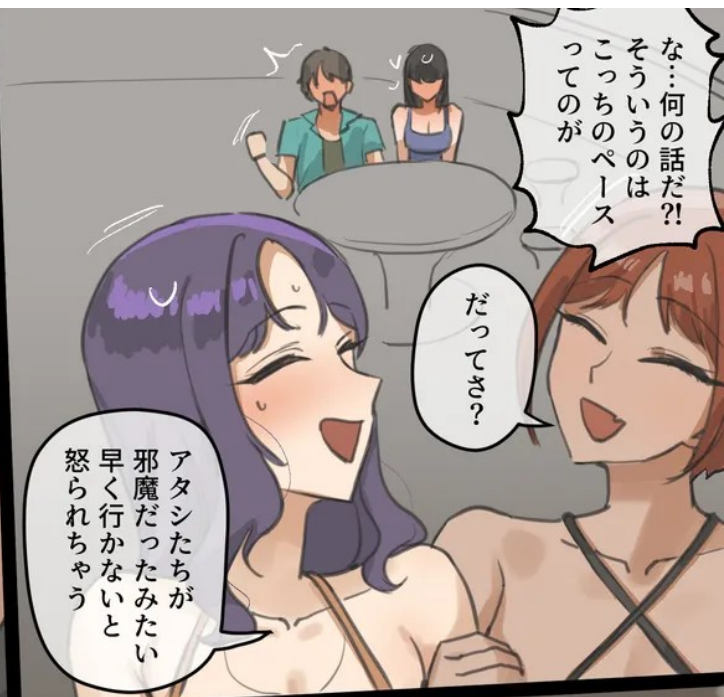
私たちは
退散するから
美咲ちゃんと
暑い時間を
過ごさないな…



そういえば
この地域って
火山がすごく
多いのね

この近辺は
プレートが
ぶつかり合う
場所だから…

あっそうか！
授業で習った
環太平洋火山帯
ってここなんだ…



にしても…
こんなところで
会うとはな

このっ…!
いきなり
何すんのよ!!

おっ…美咲か
相変わらず
イイ女だな笑
結局優斗と
くっついたのか
ウケるな

そんで
こっちの女は?
お前らの姉か?

こりやまた
暴力的な
パイオツ
してんなあ

おいっ彼女は
優斗のお母さんだ
言葉に気をつけろ!

は?
優斗のお袋?
マジかよ笑

な…何
この硬い身体…
本当にコイツ
あの黒田なの?

コイツ…
見ない間に
随分とデカく
なったじゃない

フー…



息子とは違って
情熱的っすね笑

モゾ
モゾ

ギンギンに
なっちまった

アンタ頭おかし
いんじゃないの?!
セクハラだから!!
今すぐ謝りなさい!

ったく:
うるせえ
まな板だな
笑

もしかして
この子が:
あの時学校を
辞めた...?

想像していたより
ずっと危険な雰囲気:

んだと?!

これだけ
無茶苦茶なら
関わらない方
がいい:

もういいわ
行きましょう
涼子ちゃん:

ああそうだ:
あのスパイの話
まだ有効か?

コイツ:

グ
イ
ツ

その手を
放せ!!
黒田!

乗客の皆様は船長より
お知らせいたします
ただいま近隣海域にて
大規模な地震が発生
当海域に津波警報が
発令されました

緊急事態発生！
緊急事態発生！

ただちに客室へ
お戻りください
甲板への移動は
固く禁止いたします

もう一度
彼女たちに
触れてみる
次は……

なんだよ
この海流の動き……！

緊急事態発生！
緊急事態発生！

え？
いきなり何
津波？

乗組員の指示に従い
救命胴衣の着用準備を
してください！
繰り返し申し上げます

ははっ……
ドッキリか
なんかだろ……

キャー
うわあああ……！！
あ……あれっ！

ザッ
ザッ
ザッ

これって……
もしかして……
とんでもない……





!!

ドドドドド



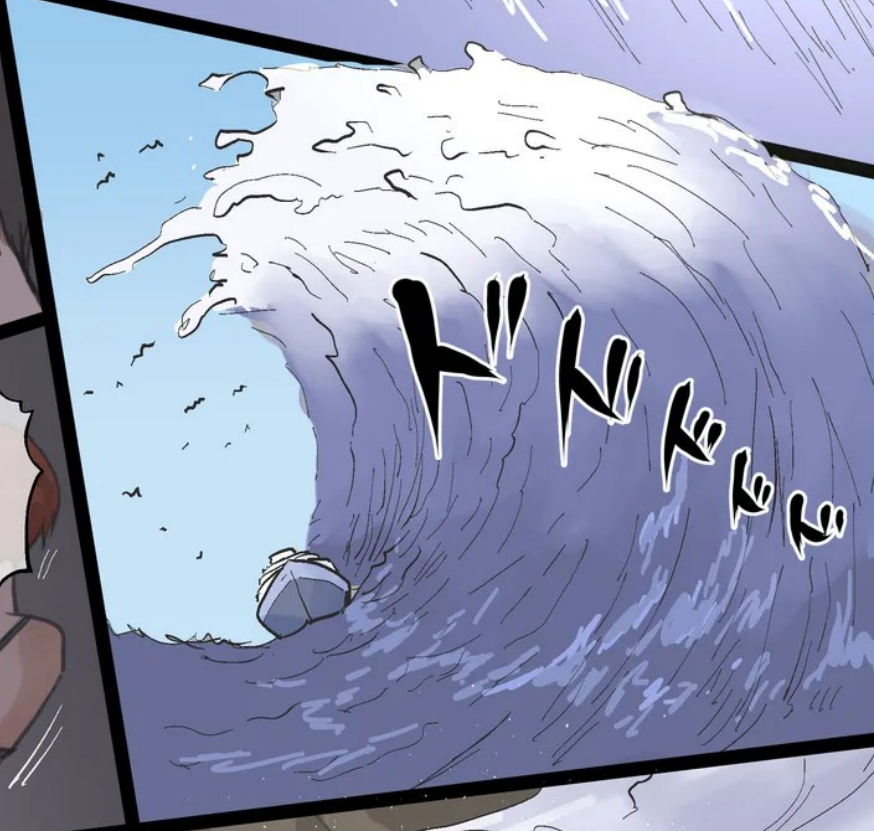
クソッ!
もうこんな
近くは?

!!
優斗!

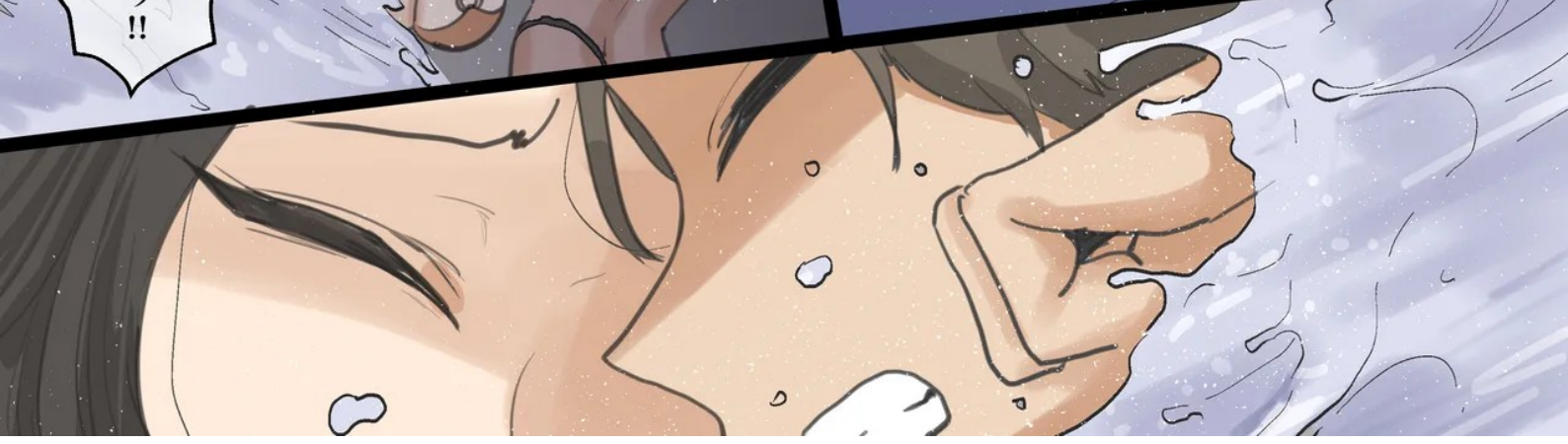


母さんッ!!

涼子姉ッ!!

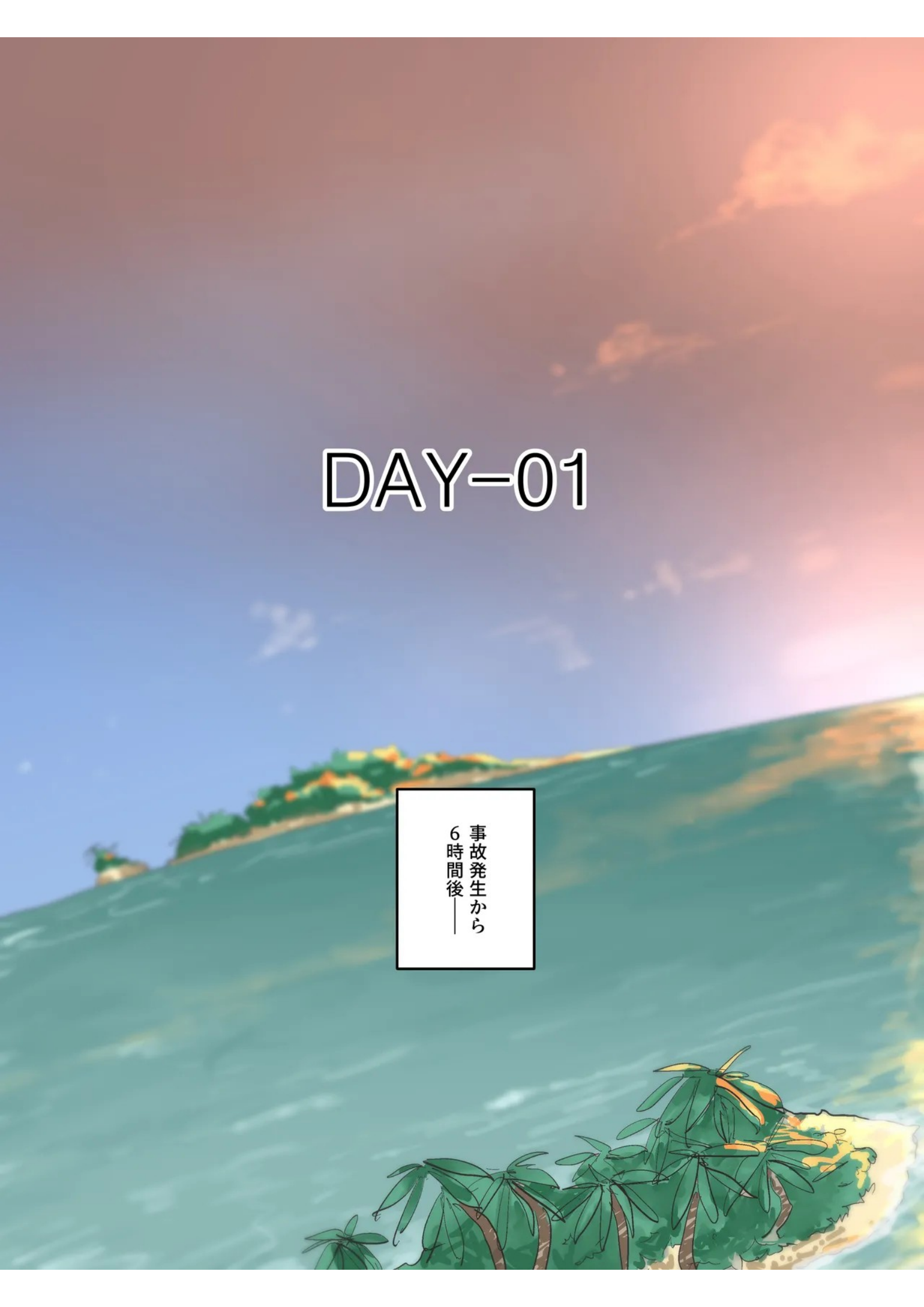


ドドドドド



DAY-01

事故発生から
6時間後



まったく
生きてるってのは
最高だな…
だろ？

んっ…でも…
本当に見たの…？
嘘じゃないわよね？

間違いねえって…
木箱に掴まった
美咲と優斗の二人が
あっちの島に
流されてった

はあ…
はあ…

あ
あ

ザ
ザ

ザ
ザ

だから
安心しなって
アイツらは
絶対生きてるさ

涼子ちゃん…
ごめんなさい…
手を離しちゃって…
無事かしら？
お願いみんな
生きてらて…

んう…

かあ…!!
おばさんの
Kカップおっぱい
マジで極上だな…
もちもちで…
弾力も最高だぜ…

ムニョ〜

ムニョ

なんですって?!
約束が違うじゃない!

胸を好きに
させてくれたら
明日すぐにあの島へ
連れて行くって…!!

あー…でも
やっぱ今日は
無理したからか
ちと疲れたわ
回復するには
ここで一週間は
休まねえとな?

ゴニョ

おばさん
ウブなんだな
ククッ

たかが脂肪の塊を
揉ませただけで
俺をコキ使うつもり
だったのか？

クソ野郎...

んうっ
はま
あ
あ

はま...

ん...

あ

お：乳首ピンピンに
硬くなってんぜ♥
ほらここでやめたら
おばさんも
物足りねえだろ？♥

スリ
スリ

待ちなさ...

あ
あ
あ

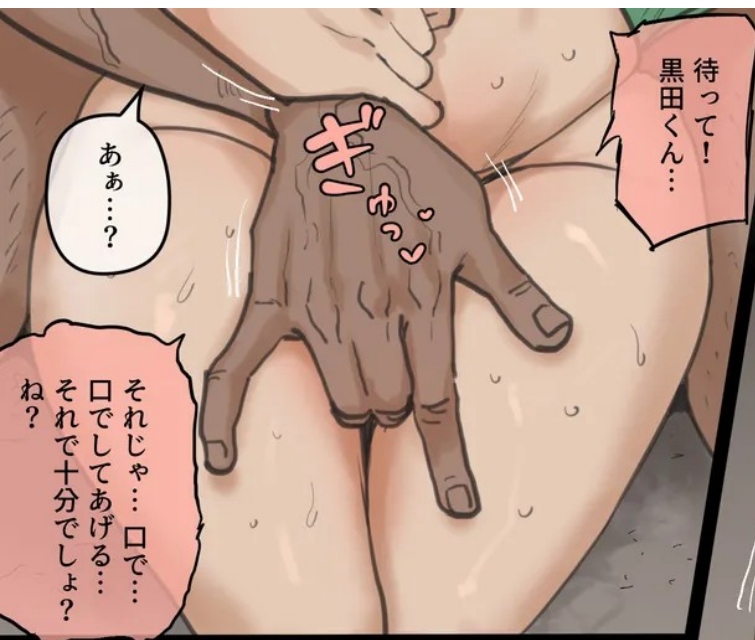
俺は命の恩人だぜ？
全てを差し出したって
足りねえくらいなのに
デカイ乳に反して
器はちっせえなく

がうっ

あ

びりびり

いいから
俺を喜ばせてみる
俺もそれ相應の
お返しをしてやる
ギブアンドテイクが
俺の信条なんでな





嘘だろ…
どうして…

こんな
大きな無人島に
俺たち3人だけ
なんて…

俺が旅行なんて
言わなければ
こんなことには…



そう！
美咲の言う通り

私が二人より
少し遅れて
島に流れ着いた
んだから



おばさんも
近くの島に
いるはずよ
きつと…



優斗のせい
じゃないわ
おばさまも
きつと無事よ

だから
諦めないで
探しましょう



な...なに？

ポロン♡

この
大きさ？



悪いけど...
こんなの
全部は入らないわ
半分くらいなら...

バカ言うな
お前経産婦だろ？
この穴から
ガキひりだした
くせによ

そ...それと
これとは
ちがっ...♡
違うわ!!

マンコ緩めろって
そんなガチガチじゃ
入らねえだろ？ 笑

そんな
ビビんなよ
おぼさん
ククッ

こんな暴力的な
サイズ...
初めて見た！

あ...
あ...
あ...
来る...

すぐイかせて
やるし
絶対気に入るぜ
俺のチンコ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡



一体どこまで入ってくるの？

し：子宮が持ち上げられてる？！

はあっもう…これ以上はムリ…奥届いてるから…

いちいち騒ぐな黙って俺のチンコ啜えてろ！子宮の奥までエグってやつから

んぐう…んぐう…

ああ…マンコきつつ！



おおお



クソっ…どんだけ締まりヤバいんだよこのマンコ…

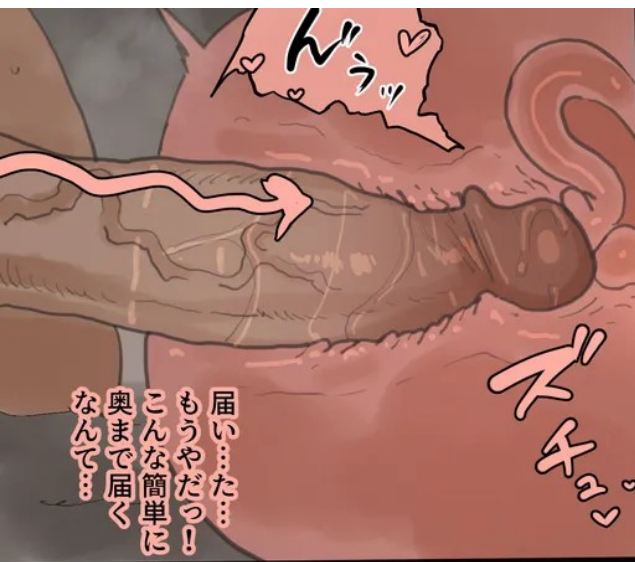
すぐイっちゃまいそうだ…ああ…

あん ああ

おおお

ぎゃう

どちゃ

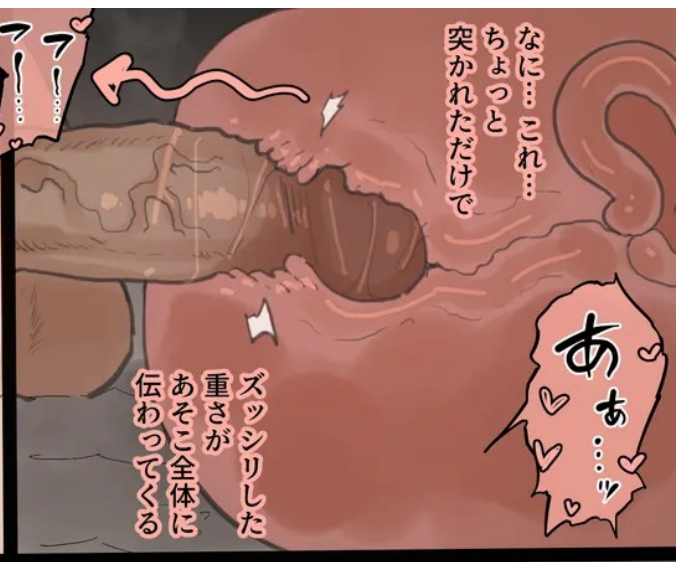


届い…た…
もうやだっ!
こんな簡単に
奥まで届く
なんて…

ズッ



ああ…
また入って
くる…



なに…これ…
ちよつと
突かれただけで

ズッシリした
重さが
あそこ全体に
伝わってくる

あぁ…



あーイキそう
ヤバイわこれ
気に入った笑

俺のチンコどーよ?
最高だろ? ん?
由佳ちゃん彼氏いんの?
俺の女になれよ

ぽん

おおお

あぁん

お

由佳ちゃんだなんて…
気安く呼ばないで!!

ふざけるな!!



ごめん
由佳ちゃん…
俺たち別れよう

18歳で優斗を
身籠ってすぐ
あの人は
私たちを捨てた

あの子を快樂の
おまけかのように
扱った彼のせいで
私は男性不信に陥った



そうしているうちに
女としての自分を
少しずつ忘れていった

だけど…
私は幸せだった
優斗は私の期待を
遥かに超えて
すすくと
よく育ってくれた



私に言い寄ってくる
数え切れないほどの
男たち…

男なんて結局…
皆同じだわ



母さんまだ若いなら
寂しくないのかなって
母さんの人生だって
大事なんだから…

今になって
ようやく少し
勇気が湧いて
きたのに…



私の外見しか
見てないんだから



おおっ
まじでイって
んじゃん!
えっろ♥

たかがこれっぽっちで
獣みてえに喘ぐのかよ
ククッ

あーん

あーん

たん

たん

たん

優斗ママは
早漏マンコ
だな♥♥



おっおっおっ
おっおっおっ

おっおっおっ
おっおっおっ
おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっ

ギョ

ギョ

ズ
ズ
ズ

くはははっ
おらいケよ
由佳ちゃん♥



あーん

あーん

これからは俺が
毎晩可愛がってやる
もう寂しい思い
させねーよ♥

だからな?♥
俺の女になれよ
由佳ちゃん♥

やめてっ!!
黙って!!
お願いだから
彼を思い出させ
ないでえ!!

えっ？

なによこれ
おろして!!
あっ♡

うるせえな
黙ってマンコ
締めとけ!

ものすごい力...
私かなり重いの尻
オモテや扱
されてる...

本当に優斗と
同じくらいの
歳なの？

この体位で
やったことある？
由佳ちゃん♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

やだあ...っ
こんなの
耐えられない...
またイっちゃう

おっ♡

おっ♡

おっ♡

あああくる♡
だめだめだめ♡
さちやうう♡

だめっ!
やめでえ!
お願いっ!

突くたびに
潮吹いてんじゃん
ちゃんと水分温存
しとけよ





おっ
おっ
おっ

入れただけで
イくのかよ笑
可愛いじゃん
たまんねえ

ん
ん
ん
ん
ん



な?
言っただろ!!
俺のチンコ
絶対に気に入る
ってな

ああっ...
精液上がって
きた!!

出すぞっ!

いやっ!!
中はだめよ!!

おっ
おっ
おっ

ぬ
ぬ
ぬ
ぬ
ぬ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

もう
やめ
やめ
やめ



優斗...

おおおん
おおおん
おおおん

はなし
いやっ
はなし
はなし

おお
おお
おお

ああ
ああ
ああ

ああ...
中に出
れてる...

やあ...
だめ...

んんん
んんん
んんん

わわわ
わわわ
わわわ

熱いのせんぶ...
奥に注がれてる...



はあ...
最高...♥♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

よしこれで
救助代は精算完了
それとついでに...
明日の島への交通費も
前払いで貰っておくか

このまま
日が昇るまで
やりまくるぞ♥



おら
掃除しろ

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥



あなたたちこそ
怪我はない？
みんな無事で
よかった

ええ
大丈夫よ

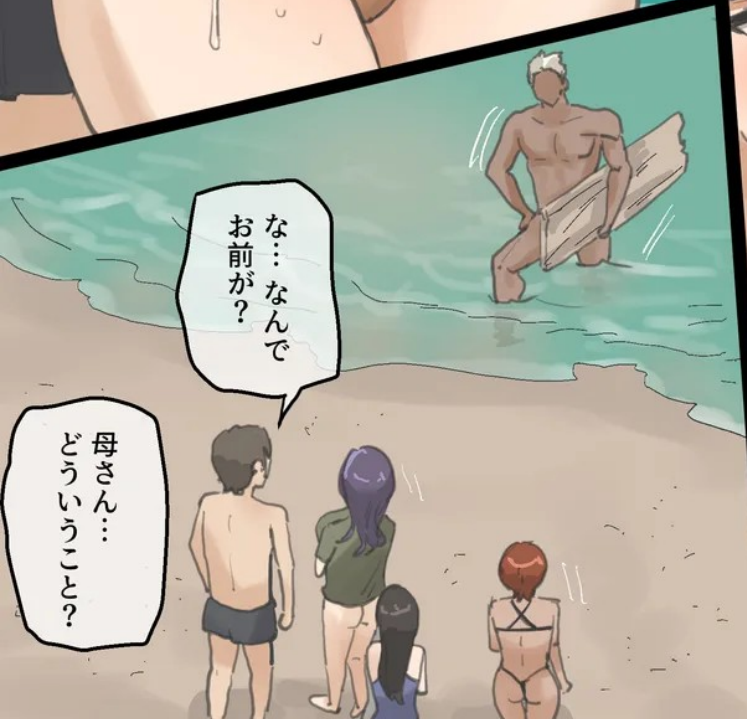
母さん…
どうやって
ここまで？
怪我はない？

母さん!!
おばさん!!



オイオイ
全員生きてん
のかよ笑

これぞ
奇跡って
ヤツか？



な…なんで
お前が？

母さん…
どういこと？



アンタ…!!
まさかおばさんに
変なことしてない
でしょうね?



え…? まさか…
もし そうだったら
私も黙ってないわよ

黒田くんは
見た目より
ずっといい人
ってだけ…
そうでしょ?



黒田くんが
いなかったら
お母さん
どうなってたか…

私を助けて
ここまで泳いで
来てくれたの



だったら
アンタも
日頃から
馬鹿な言動は
慎みな!
自業自得よ

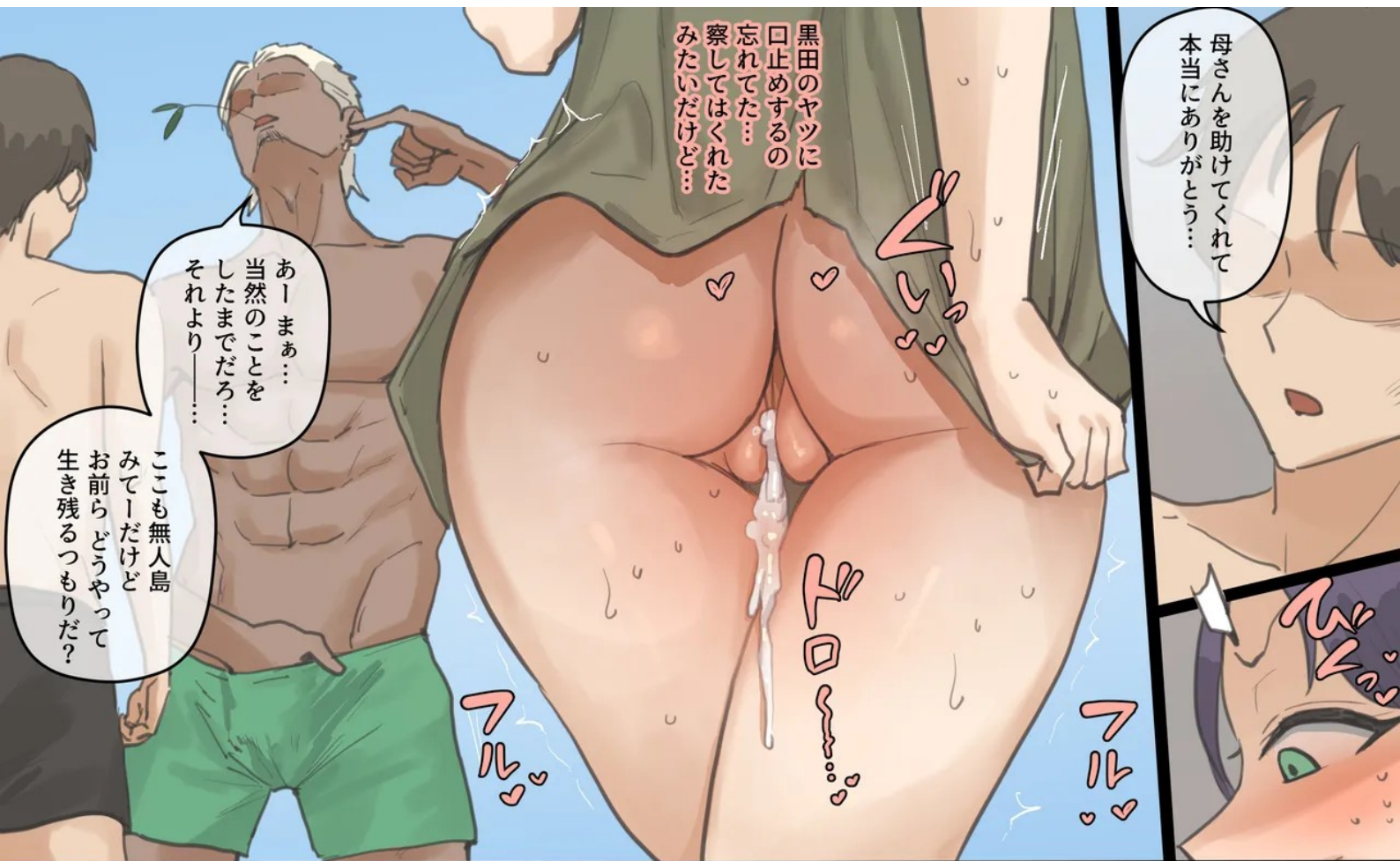
アタシたちと
過ごすつもりなら
これからは
気をつけなさい!!

いや
黒田の
言う通りだ



つたく…
男を見る目が
あんのは
一人だけか…

お前らさあ…
まずは感謝を
伝えるのが
人の道理だろ



母さんを助けてくれて
本当にありがとう...

黒田のヤツに
口止めするの
忘れてた...
察してはくれた
みたいだけど...

あーまあ...
当然のことを
したまてだろ...
それより...

ここも無人島
みてーだけど
お前らどうやって
生き残るつもりだ？

フル♡

ドキッ♡

フル♡



す...すぐ
救助隊が来るわよ！
あと少し耐えれば...

はいまだ状況が
分かってねえ
マヌケが一人笑

...もし救助隊が
永遠に来なかつたら？

はあ？
馬鹿なこと言わないで!!
今の言葉取り消さない!!

うるせーな
黙って俺の
指示に従え

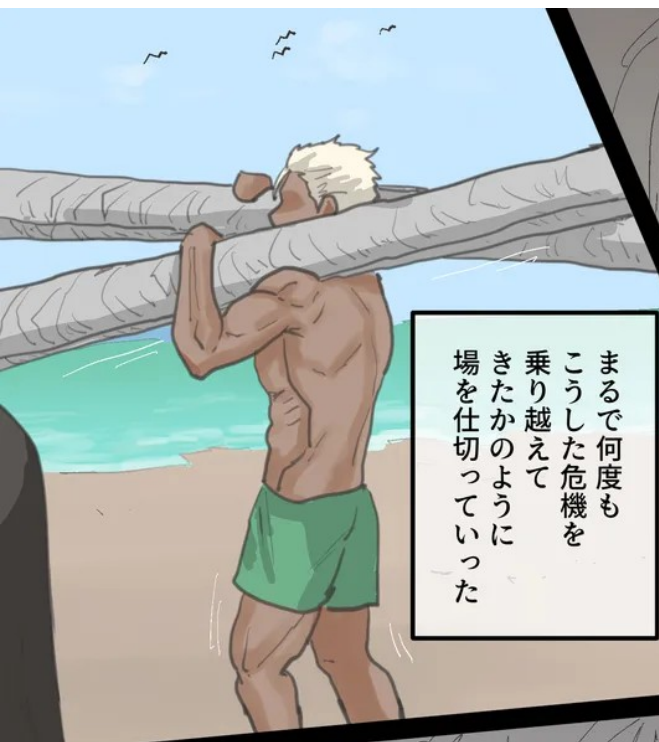
まず
寝床の確保
からだ

つ...
まだ精液が
垂れてきてる...

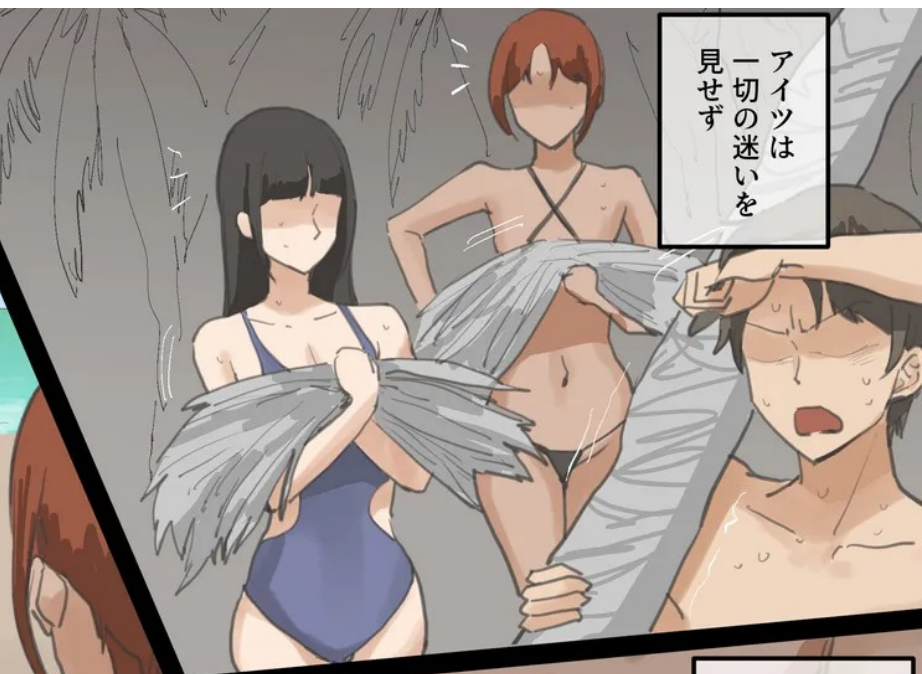
クソ野郎...っ
どれだけ中で
出したのよ!!

ドキッ♡

フル♡



まるで何度も
こうした危機を
乗り越えて
きたかのように
場を仕切っていた



アイツは
一切の迷いを
見せず



俺が本で学んだ
知識なんて
この場所では
ほとんど
役に立たない



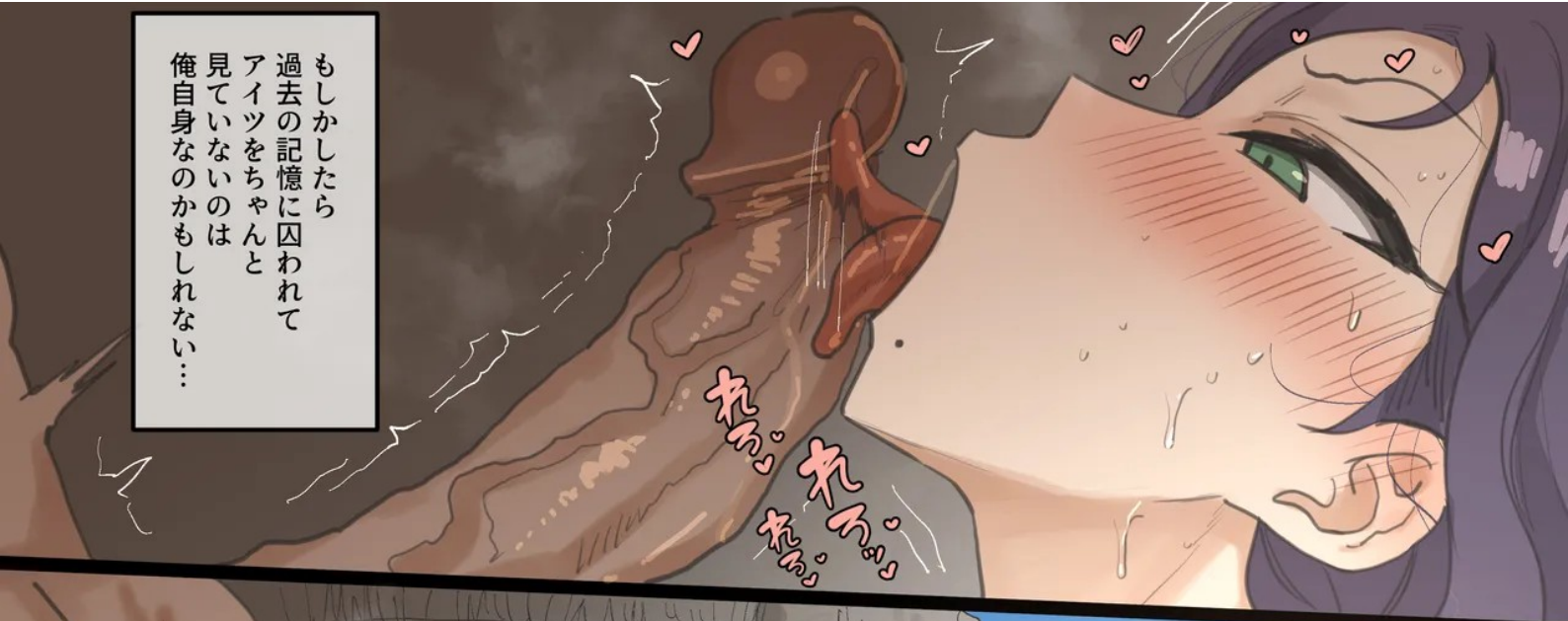
アイツが現れてから
彼女たちは
みるみる落ち着きを
取り戻していった



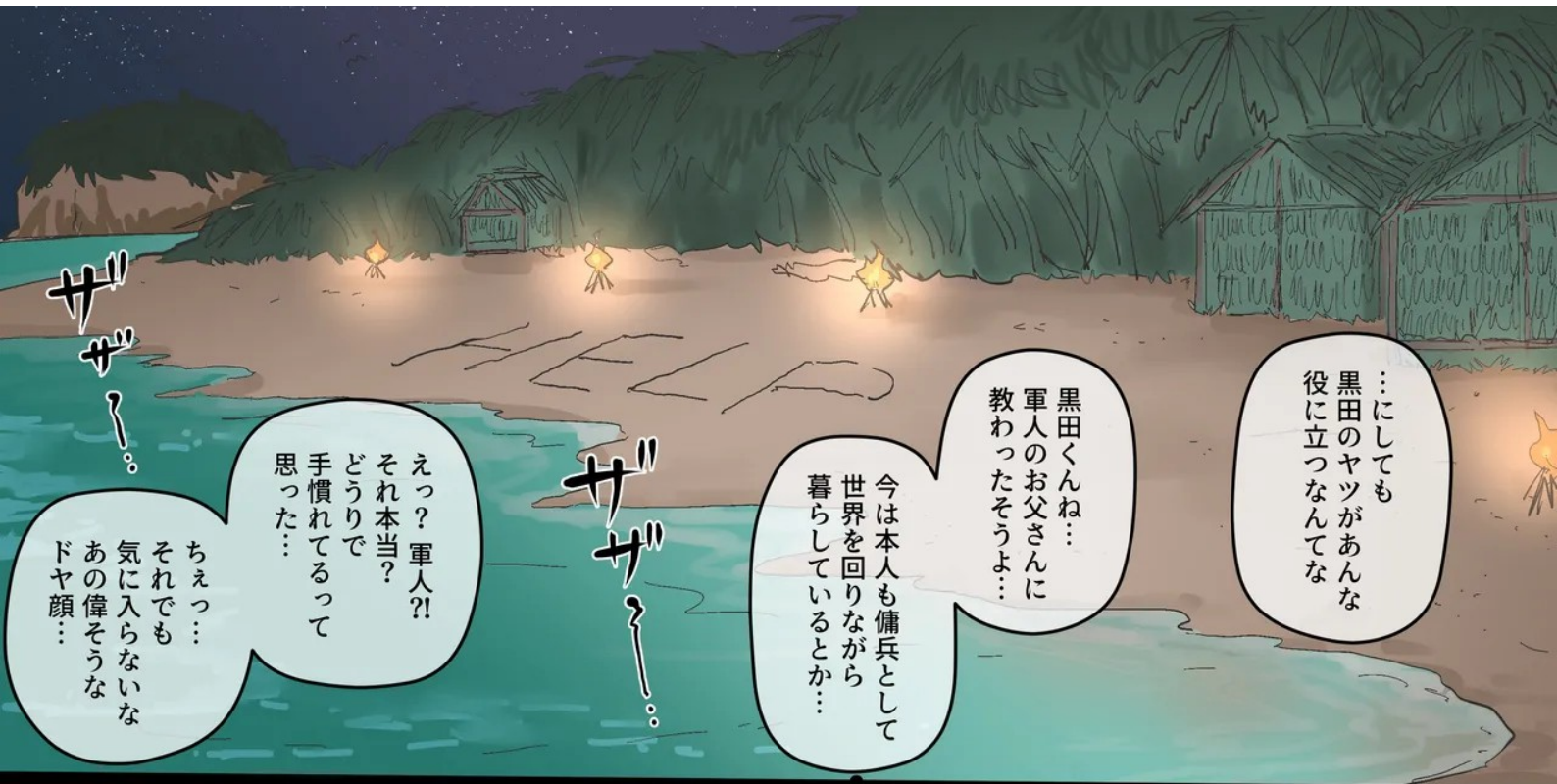
そして俺は
自分自身について
改めて考えさせられる
ことになった



もしかしたら
過去の記憶に囚われて
アイツをちゃんと
見ていないのは
俺自身なのかもしれない…



アイツは…
完全に違う人間に
なって帰ってきた



…にしても
黒田のヤツがあんな
役に立つなんてな

黒田くんね…
軍人のお父さんに
教わったそうよ…

今は本人も傭兵として
世界を回りながら
暮らしているとか…

ザザ？！

えっ？軍人?!
それ本当？
どうりで
手慣れてるって
思った…

ちえっ…
それでも
気に入らないな
あの偉そうな
ドヤ顔…



おい優斗…
これで終わりだと
思うなよ

いつか必ず
叩き潰してやる



おばさん
アタシね…
ポジティブに
考えるよ

救助隊が来るまでの
素敵なバカンスを
過ごすって
考えることに…





待ちくたびれたぜ
アイツらは寝たか？

ほら
さっさと脱いで
こっち来いよ♥

うおっ♥
由佳ちゃんの
身体エツロ♥♥
やっぱ10代で
子供産むだけは
あるわ

昨日夜通しやって…
今日は二日中働いたのに
どんな体力してるの？



私を見るなり
勃起させて…
これが若さ
かしら…

うおっ！！



機嫌がいいわけ
ないでしょ…
毎日2回も射精
させてくれなんて
やりすぎよ…

そんだけ
由佳ちゃんのこと
好きってこったよ
その怒った顔も
可愛いね♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡



トニョ♡

とろ♡

おお…
えっろ…♡

でも昼からずっと
不機嫌そうだな？
先に取り引を
持ちかけたのは
由佳ちゃんだろ



初めて会ったときも
28くらいにしか
見えなかったぜ？

ドキ♡

…ふん！
20代だなんて
バカ言わないで…
そんなお世辞で
私が喜ぶとでも？

ぬちゅ♡



心にもないこと
ばっかり
言わないで！
大人をからかって
楽しい？

あ？本気だって
俺の同年代の
誰よりもずっと
若くてキレイだぜ
由佳ちゃんは

結局ただ私を
犯したいだけ
でしょ…

むちゅ♡
どちゅ♡





このクソ野郎!
ちゅっ 精液の匂い...

イク前に言えって
言ったでしょ!!

飲み込んだじゃった
じゃないの...っ!



やめて!!
余計なこと
しないでっ!

そんなじゃ
本番いくか
由佳ちゃん♥



ああ...
クソ可愛い
キスしようぜ♥
舌だせよ

えっ?

黒田くん！
一回セックス
したくらいで
私を軽く見ないで

いい？
はつきり言っておくわ…
私は優斗の母親なのよ！
アナタなんかより
ずっと大人なんだから！

もう二度と気安く
由佳ちゃんだなんて
呼ばないで
おばさんって
呼びなさい！

約束どおり
今日2回目の射精
だったんだから
私はもう帰るわ

ん？
そうだったか？
ああこそ…
夕方フエラで
一発抜かれてた
んだっけな…

じゃあ
仕方ねえ…♥

えっ？

←Xmas
?!
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

射精しないでセックスするしかねえな...

この...っ!
クソ野郎!!

俺はセックスしねえと眠れねえんだよ
だからやろうぜ
由佳ちゃん♥

クリがぶっくり
勃ってんぞ
由佳ちゃん♥
大の大人がそんな
赤ちゃんみてえに
泣いていいのか?
ん?♥

クンニなんて
恥ずかしくて
死にそう!!!

ああ...っ
そーだめ...

返事するまで
止めねえからな♥

いやよっ!
絶対に約束は
守って!♥

今日は
だめえっ♥

ああだめ
もうムリ!!
イクっ♥
イっちゃう!!♥

ったく...
マジで頑固
だな♥

クソっ
仕方ねえ...
おらいけっ

わろっ
わろっ

ああ...
んら...っ

あんっ

ああ...
んら...っ

あんっ



イけっ
!!!!!!

ああ…結局…
また今日も
やってしまった

この男のセックスは…
強引で圧倒的で…
女を無理やりイかせて
しまうセックス…

おおお
おおお
おおお

死んでも
認めたく
ないけど…



長い間
男を避けてきたせい
…だけじゃない…
この男のセックスは
明らかに他と違う

毎晩こんな快楽に
慣らされてしまったら
絶対に危険…

奥まで満たしてくる
この男のペニスは…

抜けたときにこそ
空っぽになった寂しさを
思い知らせてくる…

おおお
おおお
おおお

だから
今日は耐えようと
必死だったのに…



今日一日中
この男とのセックスを
思い出していた
優斗と一緒にいるとき
でさえも…

おおお
おおお
おおお

この歳になって
いくつて感覚を
初めて知ったくらい
スゴかったから…

昼間は精子で子宮
パンパンにしな
ながら
よく平然と息子と
会話出来たなあ？

あれそそったせ
俺らだけの秘密
みたいでさ♡

そろそろ
日付も変わった
かもなあ？♡

一人でいくのも
寂しいだろ？♡

ケダモノみたい
に
私が私じゃなく
なっちゃう...♡

おおっと♡
またマンコ
締まってんぞ

おおッ♡

あぁん♡
あぁん♡

あぁん♡
あぁん♡

あ♡

ぬふ♡
ぬふ♡

ぬぢ♡
ぬぢ♡

ほん♡
ほん♡
ほん♡

あ♡
あ♡
あ♡

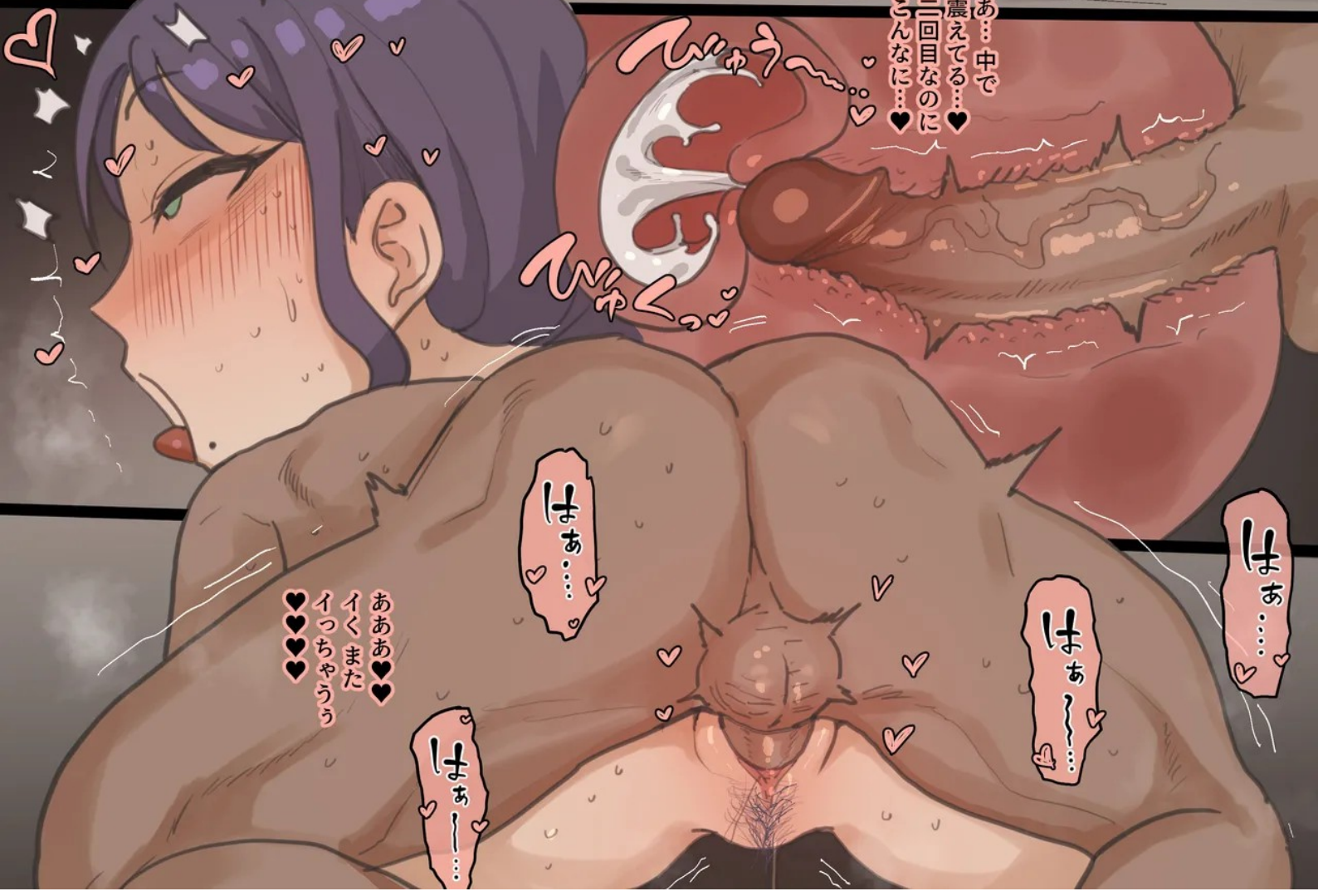


ああっ
いくっ!!

このクズ…
結局 最初から
中出しするつもり
だったのね…

おっ

おっ



あ…中で
震えてる…
二回目なのに
こんなに…

ひゃう
ひゃく

はぁ…

はぁ…

はぁ…

ああああ♥
いくまた♥
イっちやうう♥
♥♥♥

はぁ…

うお〜…
やべえ…
中出し最高♥

おん
お
お

脳が溶け
ちやわそわ…

こんなの
もう無理…

ぬふ〜

おいおい…
マンコが唾えこんで
放してくれねえよ♥

優斗ママは
チンポが大好き
なんだなあ♥♥

はあ…

あん

あ

DAY-15

ザザザ

キ
ア
ア
ア

無人島に漂流して
もう15日目――

救助の希望は
だんだんと
薄れていって
いる





一人だけか？
よほどついで
なかったんだな



もう半月も経つのに
救助は来ないし…
このままじゃ
私たちも…



母さん大丈夫？
落ちていて
俺の後ろに—



そうよ！
どうするの？
何か案出し
なさいよ！

黒田くん…
わ…私たち
これから
どうすれば
…？

最近
明らかに母さんは
俺よりも黒田を
頼りにしている

おいガタガタ
うるせえぞ!
お前ら全員
俺に命預けて
んだろうが!

弱けりや死ぬだけ
当たり前だろ?

浜辺に戻って
夕飯の準備でも
してろ

俺はここで
後始末していく
からよ

そんな母さん
を見せつけられるのは辛い
が俺にはどうすることも...

優斗:
お母さんも残って
黒田くんを手伝うから
あなたは先に戻りなさい
気をつけてね...

美咲ちゃんと
涼子ちゃん
お手伝いをして
夕飯の準備
お願い

優斗:

いや:
やっぱ一人
残って手伝え!

なんだ誰も
いねえのか?

おい優斗
俺の魚は
カリッと焼けよ
生臭いのは
勘弁だからな
ククッ

こんな時に俺のチンポ欲しがるとか：息子に見られたらどうすんだ？由佳ちゃん♡♡

んっ…♡ただノルマをこなしているだけよ…

まゝたまた笑最初からマンコびしょびしょにしてたくせに

この島では不安と恐怖が影のようにまとうりつく

正気を保つためにも少しのあいだだけでも忘れたい…

いつになったら素直になんの？由佳ちゃん♡

快楽に身を委ねている時だけは苦しみを忘れられるから

初日から一日も欠かさずやってるんだぜ？もう夫婦みたいなものだろ♡

もう優斗を仕込んだ男より俺のほうが突いてやったと思うけどどーよ？♡

ぬぢゅ♡ぬぢゅ♡ぬぢゅ♡

げんご♡

んっ…♡

あッ♡

んっ…♡あッ♡

ズ♡ズ♡

ズ♡ズ♡

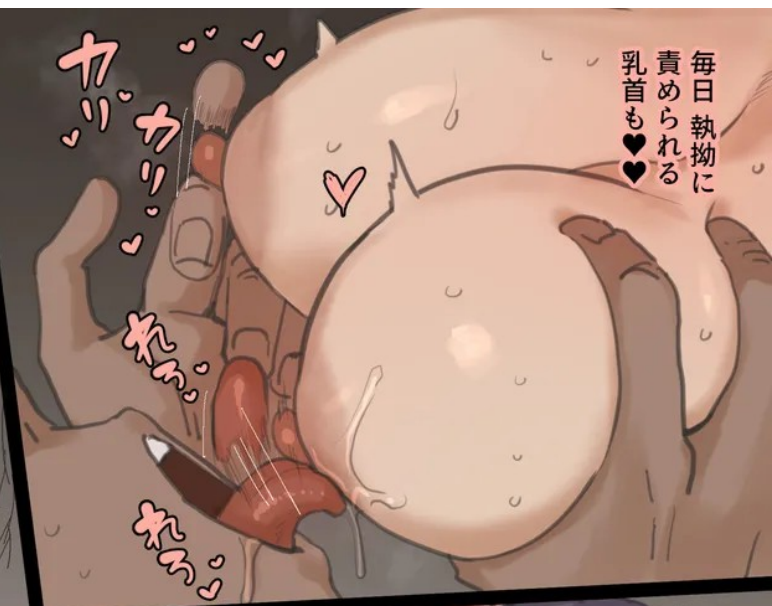


まだダメだよ
由佳ちゃん♥
俺の言うこと聞いたら
イかせてやるよ♥

えっ...?
なんで止めるの...
黒田くん...

っ...
いきなり
なによ...?

「黒田くんの
おチンポ大好き」
はい復唱♥



毎日執拗に
責められる
乳首も♥♥

カリカリ
れろ
れろ



子宮に響く
感覚も♥♥
これ...好き♥

ズクン
あ...イク
イクイク
イクイク



あは...は...
冗談でしょ?
黒田くん...

早く済ませて
ご飯にしましょ?
あまり遅れると
あの子たちも
怪しむわ

イヤか?
なら明日から
3日間はセックス
おあずけだな...

何ポーっと
してんだろ?
さっさと服着な
由佳ちゃん

ぬざっ...

おい：
寝てんの？
由佳ちゃん

だめ：
言っちゃだめ：

だめ：
なのに：

く…
黒田くん…

黒田くんの…
おチンポ…
大好きよ

はあ…
はあ…
はあ…

やっぱ面と向かって
言われるとキくぜ
イイ子だな
由佳ちゃん

おッ

おッ
おッ
おッ

ああ：言っちゃった
すごいのがキちゃう
ごめんね優斗
お母さんイっちゃう
今日だけ許して…

おらマンコ締めろっ!!
ご褒美に俺の精子で
たぶたぶにしてやるよ

もう二度と
こんなはしたないこと
言わないから



ハハハ
相変わらず
弱いな

意地張ってないで
タップしなよ
優斗

ぐっ…
いやっ…
まだまだ!

昔は色々誘っても
相手してくれ
なかったくせに…

なんで急に
ガチになってんの?
もしかして黒田を
意識してるとか?

むぎゃ〜♡

アイツ…
別に問題も起こさず
うまくやってるじゃん

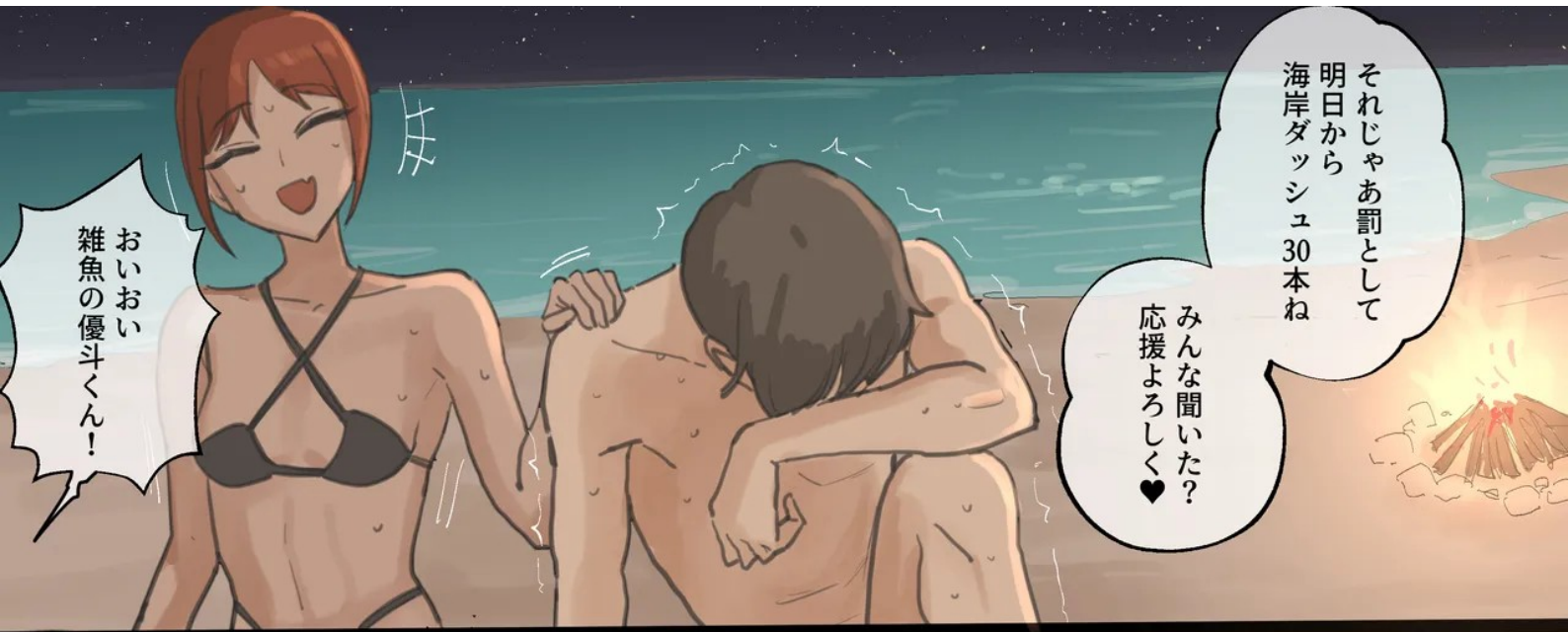
むしろ
黒田のおかげで
アタシたち
やっていけるし…

思ってたより
まともな奴
なのかも…

や…やめて
ストップ!!

パチ
パチ

…



それじゃあ罰として
明日から
海岸ダッシュ30本ね

みんな聞いた？
応援よろしく♥

おいおい
雑魚の優斗くん!



なんだ
偉そうに…

そんな
体重差も
考慮して…



馬鹿言うな!
これでもアタシ
プロだから

誰彼構わず
相手はしないよ!



女一人
倒せねえとか
致命的だろ笑
去勢でも
されてんのか?

涼子
俺とやろうぜ



俺は右手は
使わねえ

それでも
5秒ありや
楽勝かな?

…



ついでに
賭けようよ

5秒超えたら
全裸になって
アタシの股の間を
犬みたいにぐぐれ

別にいいぜ!
じゃあ5秒以内に
俺が勝ったら――

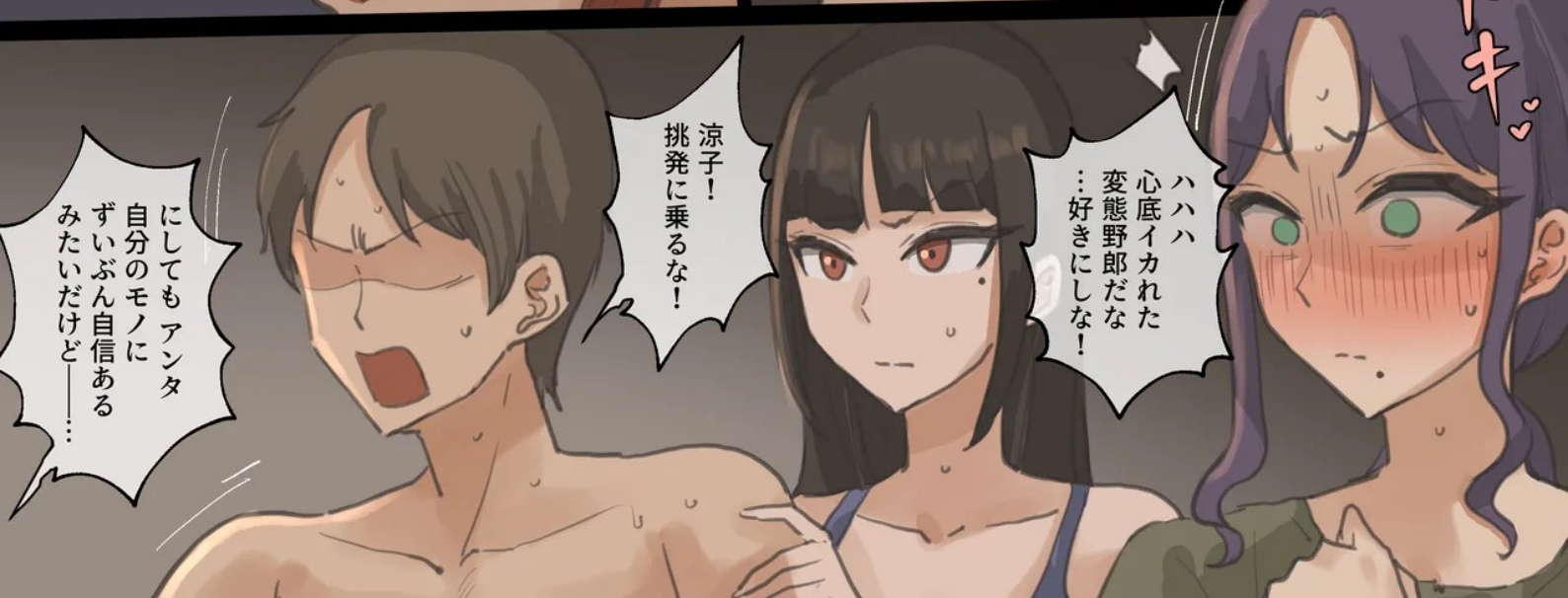


女だからって
舐めてるみたい
だけど……

路上の喧嘩ぐらいしか
したことないアンタと
アタシじゃ格が違うから



お前のマンコでも
いただこうかな



にしてもアンタ
自分のモノに
ずいぶん自信ある
みたいだけど……

涼子!
挑発に乗るな!

ハハハ
心底イカれた
変態野郎だな
……好きにしろ!

ドキ……

アタシは
デカくないと
男として
認めないから!!

おー
いきなりかよ?
じゃあカウント
スタートだ!

馬鹿な奴:
毎日男相手に
組み手して鍛えた
耐久力だ

這いつくばる
準備を……

いくらガタイが
良いからって
プロのアタシを
5秒でなんて
無理に決まってる

力で強引に
返そうとするほど
アタシに利がある

ダ
ダ
ッ

がし
がし

は?

バックも
捨てがたいが

え?
いつの間に
右足を?!
ちよつと
待って!

どうやって
食おうかな
最初はやっぱ
正常位か?

3

2

4

5

1



なんだ今のは...?
あつという間で
目で追えなかった。

おおー...
ケツでっけえな...♥
やっぱ鍛えてるだけ
あるわ

マン肉も
ぷりぷりで
美味そ〜♥

ムニッ♡♡♡

あん♡♡♡

ゆ...優斗!!
見るな!!

見たら
殺すよ!!

涼子!!
しっかりしろ!!

この状況で
まず気にするのが
優斗かよ?
匂うな〜?

そういや...
お前ガキの頃から
ずっとアイツに
付きまどってたな

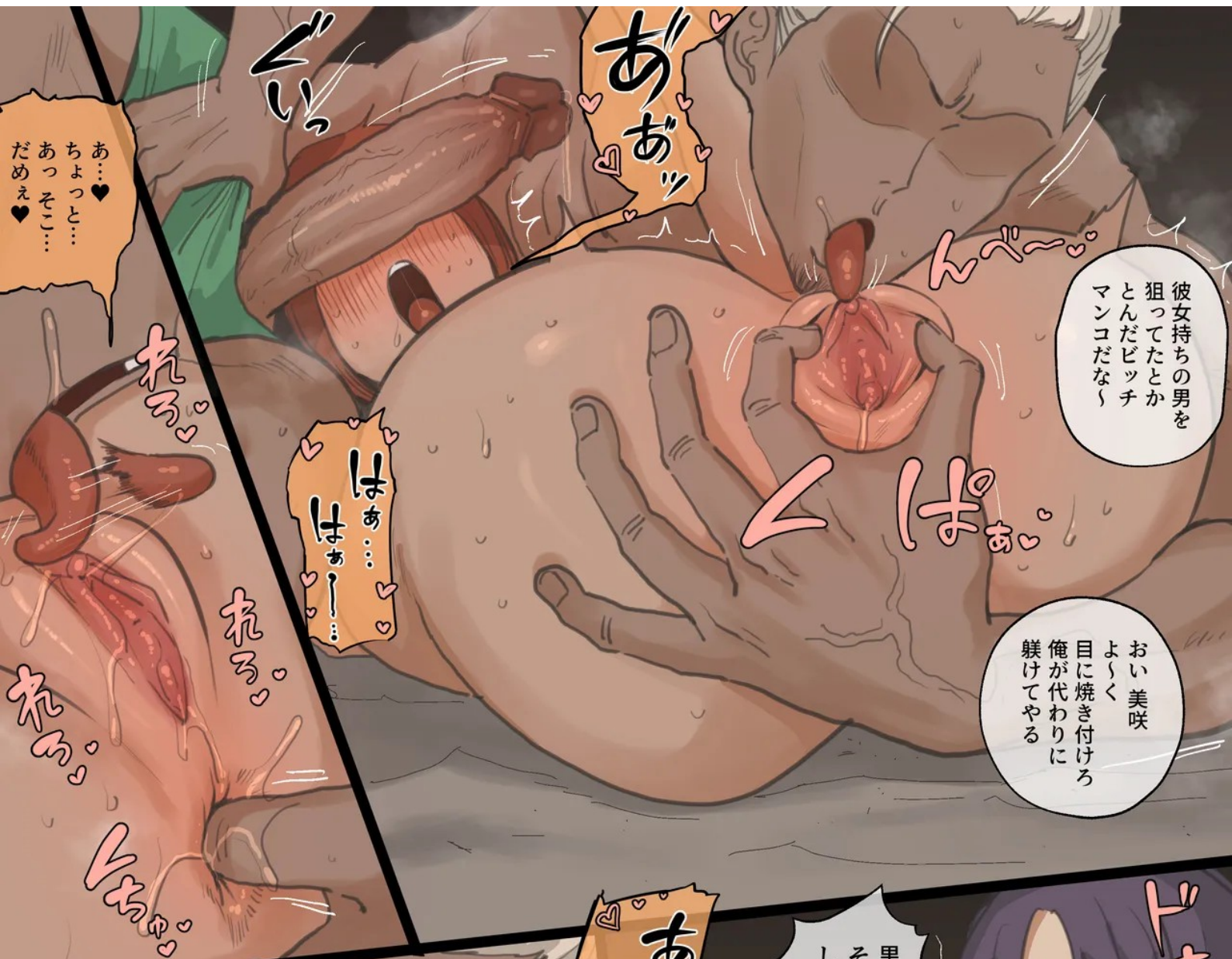
ぐいっ

な...なに?
この大きさ...

お前...
優斗のこと
好きなの?

ち...違うッ!
変なこと言うな!
早く放せ...ッ!
殺すよ!

も...
もう一回!
もう一回!
勝負しろっ!



彼女持ちの男を
狙ってたとか
とんだビッチ
マンコだなく

おい美咲
よしく
目に焼き付けろ
俺が代わりに
舐めてやる

あ...♡
ちよつと...
あつそこ...
だめえ♡

あ...
あ...
あ...

はあ...
はあ...
はあ...

れろ♡

れろ♡

れろ♡

んんん♡



黒田!!!
そこまでに
しろっ!!!!

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

口だけじゃなくて
かかってこいよ
いくらでも
相手してやる

後悔する間もなく
さっきの死体の横で
寝ることになるぜ
分かったか?

クク
ビビりすぎだろ
おしい優斗くん
先生でも呼びに
行ったらどうだ

ゆ...優斗には
手出すなよ
あつ♡
ころ...すよ...



アタシが
油断したせい
なんだから!

バカ優斗!
ポ一つと
しないで
行きなさい!
アタシは平気!



ぶはっ♡

黙れ!
負け犬オナホは
チンコでも
しゃぶっとけ

おら!
どうだよ
俺のチンコは
合格か?

うるせえよ!



うおおお...
きゅっ♡♡♡

何もできない...
アイツが怖い...
立ち向かおうとすると
足がすくむ...

ごめん...
涼子...

足が動かない...
だけども逃げたくも
ない...

あ...
ま...
あ...

お...
お...
お...

お...
涼子マンコ
いいじゃん♡♡

自分で自分が
許せない...
なんで俺はこんなに
卑怯で情けなくて
弱いんだ!!!

あ...
あ...

ああこれ...
大きすぎ...
気持ち悪い...

頭...
おかしく
なる...

これだめ...
こんなのムリ...
子宮潰される...
壊れちゃう...

んがッ

おん...

すっげえ締め付け...
やっぱぶくぶく
肥えただけの
マンコとは違うわ

ぽん

ぽん

ぽん

おん

はっ
はっ

貧乳もたまには
いいな
ちっせえ分
乳首敏感で
よく鳴くし

あっ
ちよ...
ちよっと
待って!

ちっ
なんだよ
これからって
時に...
...ん?

んん

ぎゃッ

ぎゃッ



やっば！
お前処女
だったのかよ?!
クハハハ
そのくせあんな
イキってたとか♡

こんな極上マンコを
放置してたとか
優斗お前インポか？

おおお...おん...

んお

ギョ

あゝとんどん
締まってくる♡
すぐ気持ちよく
してやっからな♡

ギョ

ズズズズ

ズズズ

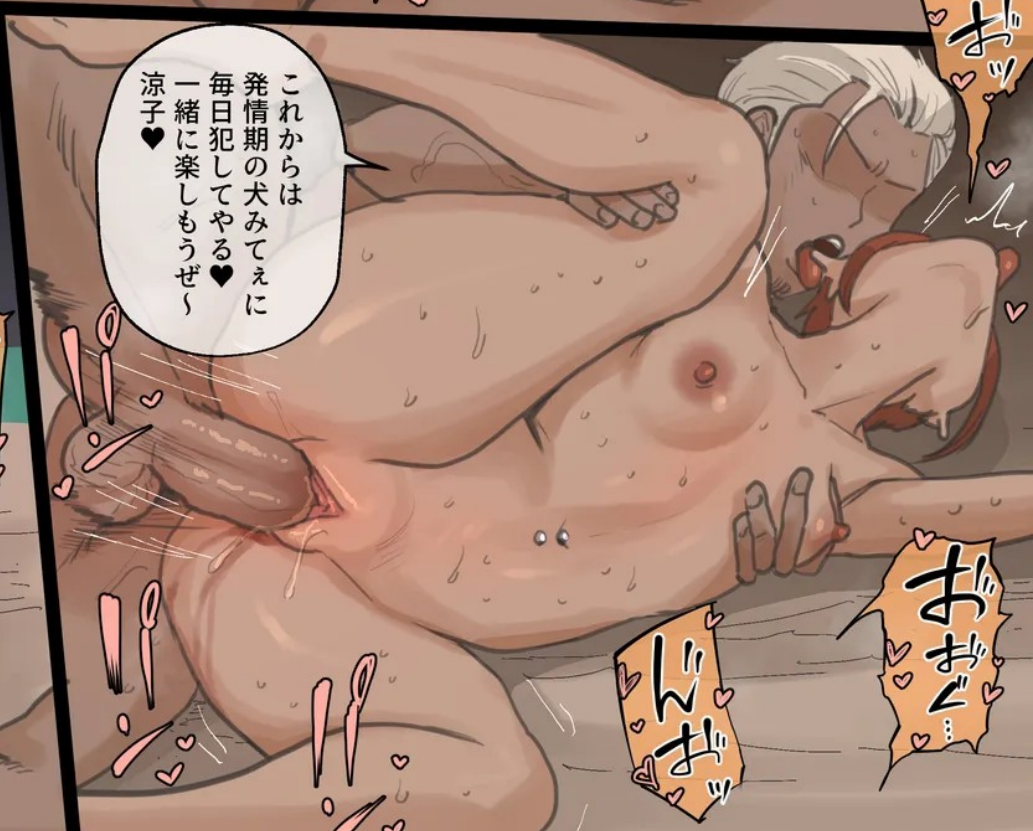
おおお



優斗！
待って！！

おん

結局
何も出来ずに
逃げるだけかよ
ゴミだな笑



これからは
発情期の犬みてえに
毎日犯してやる♡
一緒に楽しもうぜ♡
涼子♡

!!

!!

んお

おおお

あなたは本当…
救いようが
ないわね…

おっ
拗ねてんの？
第一夫人の
プライドか？
由佳ちゃん♥

おら来いよ
3Pやろうぜ
第二夫人
涼子の歓迎会だ♥

おばさん？

はあ
はあ…

あ…
もう…やだよ

ふか…
ああ

勝手にしなさい…
もう見たくもない…

照れてんのか？
なら先に戻ってろ
また後で可愛がって
やる♥

由佳ちゃんの
マンコに
寂しい思いは
させねえよ♥

んがッ

ががッ

たんたんたん

この…野郎
おばさんに
なにしたの?!

はあ…
昼はノリノリで
チンコ啜えてたくせに…
女ってこえーな♥

あん?

おん?

あれ…マジで
行っちゃった?

気にせず
楽しみやいいのに
頭固いな♥

ア…ア…

ん?

クズ野郎あつ♥
アンタ…んっ♥
気狂ってんじゃ
ないの?!
死ねっ!!

黙れっ!

そんなクズに
犯されながら
乳首ビンビンに
してるのは
誰だよ♥

おん?

おん?

こんなに
気持ちいいことを
教えてやった
俺に感謝しろよ

しっぽ巻いて
逃げたアイツとじゃ
一生こんなセックス
出来ねえぜ♥

こしてもよお...

優斗の奴：
お前じゃなくて
美咲が犯されてたら
逃げたと思うか？

違うっ！
逃げたんじゃ
ない！！
優斗は...

おっと...♥
ようやく俺のが
馴染んできたか？♥



考えてみれば
優斗は——
一度も逃げたこと
なんてなかったよな
だっていつも
アタシがそばにいたから…

優斗はアタシのこと
女として見てくれたこと
一度でもあったのかな…

おお…ッ

美咲はいいな…
優斗の大切な人で
いられて

アタシのほうが
先に好きに
なったのに…

おあッ

それでも——
待ってただよ
優斗がアタシを
見てくれるその時を

いつだって
優斗のそばで…

ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ
ほちゅっ

